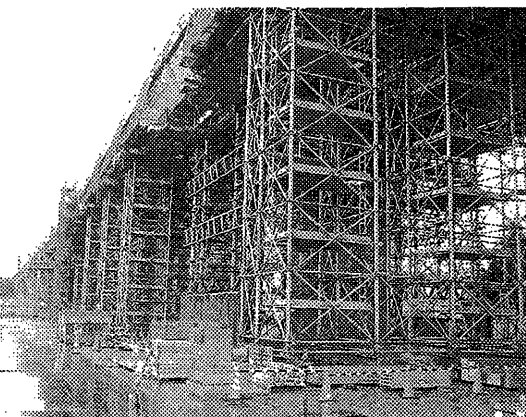


建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-13-7
電話(03)3259-8711
FAX(03)3259-8730
振替貯金口座00190-2-97953
©日刊建設通信新聞社 2012

複数パターンで施工精度向上に貢献

中日本高速道路会社が発注し、JFEエンジニアリングの施工で工事が進む、東名高速道路(改築)社家第一高架橋(鋼上部工)工事に、日綜産業の重量級大型支柱支保工システム「マルチベントシリーズ」など約1200トが採用さ



マルチベントなど約1200トが採用されている

日綜産業のマルチベントシリーズ

さがみ縦貫道路を支える

れている。支保工の転用ができない現場状況の中、標準部、拡張部、門型部などさまざまな施工パターンに対応し、12月中旬完成予定のさがみ縦貫道路の一部を、力強く支えている。

現場は、東名高速道路の海老名ジャンクション(JCT)「さがみ縦貫道路海老名南JCT(仮称)区間のうち、北側の約600m。高架橋には、桁とRC橋脚を剛結する多径間連続ラーメン構造を採用し、誤差吸収する余地が小さいことから、高度な製作、施工精度が要求される。

平面線形が曲線であり、剛結部横梁の架設精度が橋全体の出来形に大きく影響することから、RC橋脚の周りにベントを配置。ベントを利用して上下左右に調整可能な設備を設けることで据付精度を

高めている。また、継ぎ手部1カ所ごとにベントを設置することで、溶接前の鋼桁位置を高精度に管理している。

採用されているマルチベントシリーズは、伸縮式の材料を採用することで、短時間での折りたたみを実現したほか、状況に合わせた高さの組み合わせが可能で、現場での据付精度向上に大きく貢献している。

JFEエンジニアリングの山中栄作業所長は「コンパクトで組みやすく、組み立て、解体の効率化を図ることができる」と採用の理由を説明する。

マルチベントシリーズは、型枠支保工として使う場合の許容積載荷重は最大240ト(1柱当たり60ト)。内蔵された昇降設備、作業床が組み立てと同時に使える一体型システムで作業時の安全性も確保できる。工事場所は神奈川県海老名市中野J社家。

3月23日

2012年
(平成24年)

金曜日
第1757号(日刊)
日曜・祝日は休刊

Metal & Technology

鉄鋼新聞

発行所 鉄鋼新聞社
本社 東京都千代田区神田新1-101
〒100-0115

編集局 03(6259)5208 FAX03(6259)5209
編集部 03(6259)5202 FAX03(6259)5208
大阪支社 06(6446)8935 FAX06(6446)8938
名古屋支社 052(735)8556 FAX052(735)8657
http://www.japanmetdaily.com
E-mail: info@japanmetdaily.com

流通・加工

軽仮設機材メーカーのNSガーダーなど工面でメリットがある日綜産業（本社・東京都中央区、社長小野辰雄氏）は、計1200トンを供給し、現場の安全作業に貢献する。設計や施工に貢献する。

マルチベントシリーズは昇降梯子、作業者の安全を確保し、作業効率と安全性を向上させている。型枠支保工、鋼業床内蔵で開くとす

る。型枠支保工、鋼管製ベント、作業構

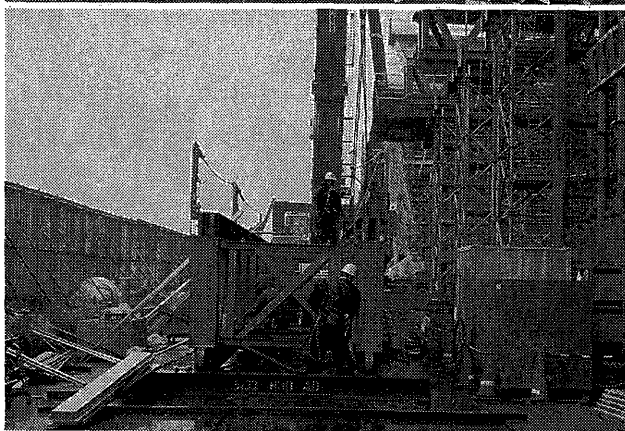
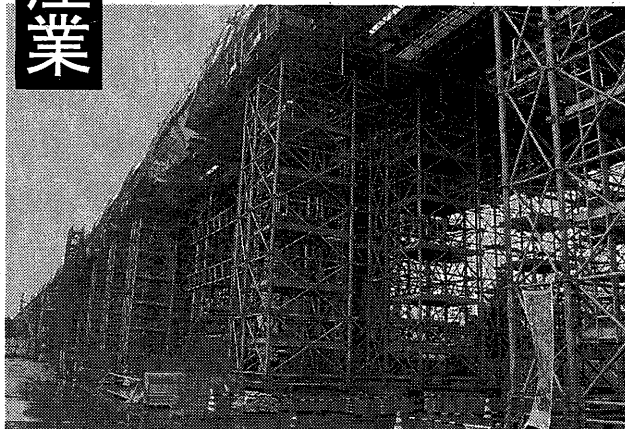
間に、発注者は中台など用途は幅広い。型枠支保工として使用する場合は、大許容積載荷重は240ト。これまでも、道路やPC橋の土木工事、アリーナや電力施設などの大型建築工事などで多くの採用実績を持っている。

NSガーダーは、長大スパンの梁材として、道路・鉄道・河川・民家などの障害物を避け、工事現場で多く支保工の転用が買っている。

圏央道・さがみ縦貫道路

重量支保工部材、1200ト供給

日綜産業



さがみ縦貫道路工事現場で使用されているマルチベント④とガーダーの組み立て作業

軽仮設機材メーカーのNSガーダーなど工面でメリットがある日綜産業（本社・東京都中央区、社長小野辰雄氏）は、計1200トンを供給し、現場の安全作業に貢献する。設計や施工に貢献する。

設計・施工面でメリット

現場の安全作業に一役

管製ベント、作業構間に、発注者は中台など用途は幅広い。型枠支保工として使用する場合は、大許容積載荷重は240ト。これまでも、道路やPC橋の土木工事、アリーナや電力施設などの大型建築工事などで多くの採用実績を持っている。

NSガーダーは、長大スパンの梁材として、道路・鉄道・河川・民家などの障害物を避け、工事現場で多く支保工の転用が買っている。

現場の狭い場所での作業できない状況にある。標準部、拡張部、門型部、張り出し部といったNSガーダーを併用した多様なパターンでの施工に対応している。

現場の狭い場所での作業できない状況にある。標準部、拡張部、門型部、張り出し部といったNSガーダーを併用した多様なパターンでの施工に対応している。

現場の狭い場所での作業できない状況にある。標準部、拡張部、門型部、張り出し部といったNSガーダーを併用した多様なパターンでの施工に対応している。

現場の狭い場所での作業できない状況にある。標準部、拡張部、門型部、張り出し部といったNSガーダーを併用した多様なパターンでの施工に対応している。

現場の狭い場所での作業できない状況にある。標準部、拡張部、門型部、張り出し部といったNSガーダーを併用した多様なパターンでの施工に対応している。

現場の狭い場所での作業できない状況にある。標準部、拡張部、門型部、張り出し部といったNSガーダーを併用した多様なパターンでの施工に対応している。

建通新聞

神奈川

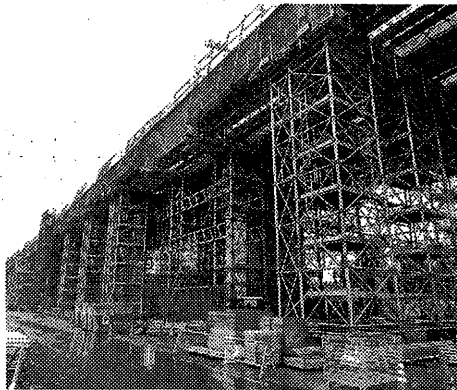
発行所 建通新聞社
神奈川支社
横浜市中区住吉町1-2
〒231-0013 電話(045)681-6024
横浜支局 電話(045)681-6024
相模支局 電話(046)292-2288

さがみ縦貫へ
1千200t納入

日綜産業「マルチベント」

日綜産業(東京都中央区)の重量支保工である「マルチベント」が、さがみ縦貫道路の工事現場で使われている。写真。計1200tが納入され、標準部・拡張部・門型部・張り出し部という多様な施工パターンに対応している。

現場は中日本高速道路発注、JEEエンジニア



リング施工の「東名高速道路(改築)社家第一高架橋(鋼上部工)工事」。現場所長からは「コンパクトで組みやすい構造なので、搬入時の作業効率が高まった。作業員からも扱いやすいと好評だ」

と高評価を得ている。

「マルチベント」シリーズは、伸縮式の材料を使用し、短時間で折りたたみを可能にした重量級の大型支柱支保工システム。現場状況に合わせた高さの組み合わせが可能、型枠支保工や鋼管製ベントなど幅広い用途がある。担当者は「足場やタラップなどが内蔵されており、現場にも多くのメリットがある製品。今後も積極的に展開していきたい」と話している。